

「EBPMの徹底に向けた基本法の制定を」 ~国民に信頼されるワイズ・スペンディング~

経済同友会 経済・財政・金融・社会保障委員会

2024年3月27日

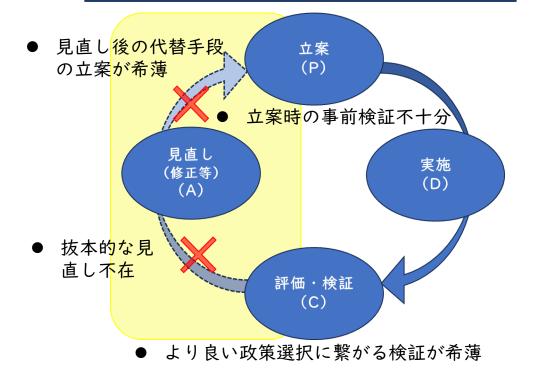
| - |. 提言検討の視点、課題認識

▶ 日本経済の持続的成長に向けては、財政規律や限られた財源で効果を高める賢い支出(ワイズ・スペンディング)がより重要になる。そこにおいて、政策決定プロセスにおけるEBPMのあり方がより問われている。

【EBPMに関する現状の課題】

- <u>I,政策のPDCAサイクルにおいて、総じて「検証から立案」に結びつけるプロセスが機能していない</u> (政策立案(P)段階の事前評価や検証(C)後の見直し(A)とそれを次の立案(P)に繋げる発想が希薄もしくは不在)
- 2,大規模かつ中長期的な政策プログラムに関するEBPMの導入が不十分である (複数の年度や事業をまたぐ重要な政策プログラムの検証については不十分)

①政策のPDCAサイクル上の課題



②政策プログラムにおけるEBPM目線の課題

<u>政策(狭義)</u> <u>= 政策プログラム</u> 特定の行政課題に対応した 基本的方針の実現



● 複数の施策・事業で構成される大規模かつ中長期の主要な政策プログラムに対するEBPMの観点が欠落

施策 狭義の政策を実現するための 具体的な方策や対策

事務事業(事業) 施策を具現化する 個々の行政手段

(行政活動の基礎的な単位)

- 施策レベルの政策評価も 事後的な検証中心で、立 案に繋がる評価不在
- 政策プログラム全体での KPIの設定等が不在・曖昧 なため、個別事業の検証 が行えないケースも存在

I 一 2. 提言検討の視点、課題認識(具体的な事例)

▶ 例えば、社会保障費の抑制に向けた政策プログラム「医療費の適正化」において、エビデンスに基づく検証から次なる政策の立案を徹底することで、より高い政策効果を得られる余地がある。

社会保障領域の歳出改革(医療費の適正化)事例

事例① リフィル 処方箋

- ▶ リフィル処方箋の活用実態は、政府が2022年度診療報酬改定時に見込んだ医療費効率化効果の470億円程度(改定率換算▲0.10%)に対し、現状は20億円程度に留まっている。
- → リフィル処方の促進が進まない理由を特定(アンケート調査等)し、<u>有効な代替的な政策手段(周</u>知の徹底等)を立案し修正対応することで、本来見込む400億円超の医療費効率化を実現すべき

事例② ローバ リュー・ケ ア/LVC)

- ➤ DSTによる「<u>効かないという研究結果(エビデンス)が十分にある医療(ローバリュー・ケア/LVC)</u>」の研究(33項目)の結果、分析対象病院全体の年間医療費総額の少なくとも0.23%、日本の総医療費に当てはめれば毎年1,000億円以上の医療費が過剰に使用されていることが推定されている。
- 政府においてLVCのエビデンスを検証し、LVCに係る医療費削減分を重要性が高い<u>創薬のイノベーション(cf.「医薬品等のイノベーションの基盤構築の推進」24年度予算案617億円)等</u>に活用すべき

事例③ **病院病床数**

- 病院病床数が多い都道府県は一人当たり医療費も高い(高知県と神奈川県では、病床数で2.9倍、医療費で1.6倍の開き)実態があり地域毎の違いを踏まえても全体的に効率化の余地がある(cf.各都道府県の基準病床数まで病床数を削減→約2.2兆円の医療費削減想定/日本総研)
 - ▶ 地域医療連携推進法人の活用による域内連携により病床数の削減と病院経営の改善が実現した成功事例(cf.(兵庫県)川西・猪名川地域の病院統合)を念頭に、病床数の効率化が進まない地域においても圏域連携と横展開の加速、推進へのインセンティブの仕掛けなどを立案すべき

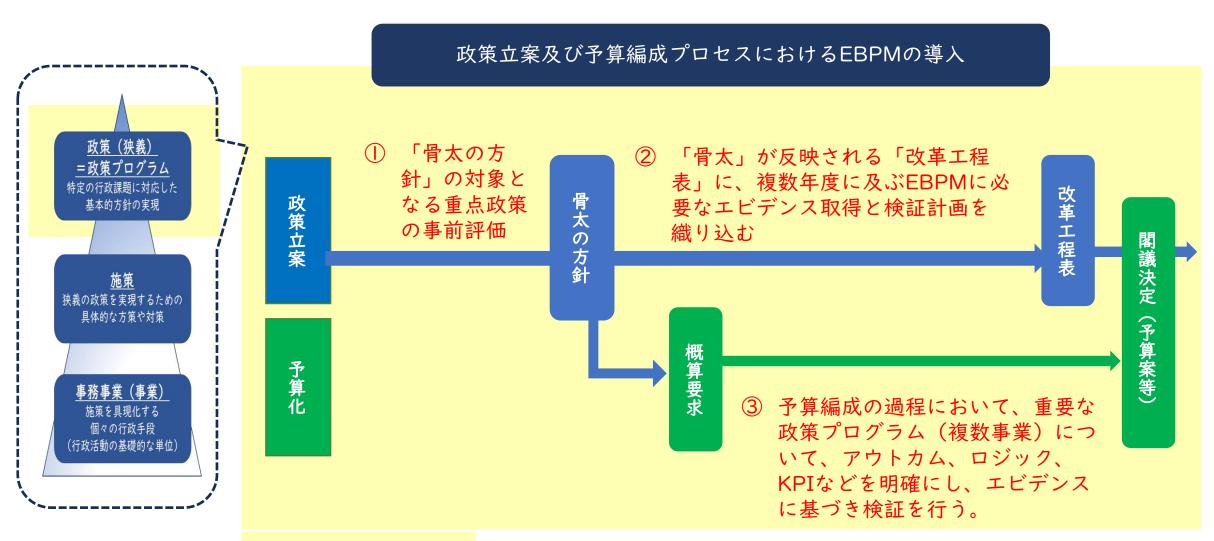
2-1. 提言のポイント

「EBPM推進基本法(仮称)の制定」~EBPMの徹底を促す環境構築~

- ①「骨太の方針」を起点にした政策立案段階におけるEBPMの導入
 - ▶ 「骨太の方針」及び「予算編成」の政策立案プロセスにEBPMの考え方を本格的に織り込む
- ② 政府の重要政策(長期かつ複数事業を有する政策プログラム)に対する司令塔機能の強化
 - ▶ 内閣官房/内閣府内にEBPMの司令塔機能を首相直轄の組織として設置する(既存の関係組織を一部再編)
 - ▶ 政策プログラムの立案・評価・検証のための予算を確保し、必要となる権限や人的リソースを備える
- ③ 国会におけるEBPMの監視機能の構築〜独立財政機関(IFI)の設置・活用〜
 - ▶ 本会が国会内への設置を提言しているIFIにおいて、EBPM の機能を一定盛り込む。
- ④人材育成・人材の有効活用および官民人事交流の促進
 - ▶ EBPMに必要な人材の質量両面での拡充。**省庁横断的な採用・育成**、評価、省庁間交流**/官民間の人材交流**の促進
- ⑤行政サービスIDによるデータ基盤の構築
 - ➤ EBPMを目的とする際にデータを省庁間で広く共有し利活用をしやすくするための法的基盤の整備
 - ▶ 行政サービスの利用状況・履歴をデータ化するため、国・自治体の行政サービスに網羅的にIDを附番する「行政 サービスID」を法制度化

2-2. 提言のポイント(政策立案プロセスのイメージ)

①「骨太の方針」を起点にした政策立案段階におけるEBPMの導入



2-3. 提言のポイント (司令塔機能強化のイメージ)

② 政府の重要政策(長期かつ複数事業を有する政策プログラム)に対する司令塔機能の強化

